

卒業式特集



今年も多くの生徒がこの学校を巣立っていきました。

以前の卒業式定番ソングに「巣立ちの歌」というのがあります。

花の色 雲の影 懐かしい あの思い出
過ぎし日の 窓に残して 巣立ち行く 今日の別れ
いざさらば さらば先生
いざさらば さらば友よ
美しい 明日の日のため

別れは「美しい明日」に向かう第一歩です。雄々しく巣立った諸君を見守りたいものです。



学校長 井戸 裕久

音楽科

オーストリア修学旅行

3月7日～13日

美しい都・オーストリアへ出かけて

211 石原 光紅子（長浜市立湖北中学校出身）

以前からオーストリアが「音楽の都」だということを知っていましたが、同朋高校に入学してからは、実際にオーストリアへ出かけるのだということが楽しみで仕方ありませんでした。オーストリアは、思っていた以上に景色が美しく感動しました。修学旅行最終日には「こんなに美しい場所から帰らなければならぬ」と、残念な気持ちでいっぱいになり、オーストリアを離れるのがとても悲しかったです。ぜひまた出かけた場所だと思いました。

この修学旅行で、音楽を詳しく学べ良かったです。修学旅行のおかげでさらに音楽が大好きになりました。



Schedule 〈行事予定〉

4月	
7 月	入学式
8 火	始業式
9 水	基礎力診断テスト 1年生AP・MP説明会
10 木	2年生AP・MP説明会
11 金	基礎学力検定
14 月	美術系EP説明会
15 火	語学系EP説明会
16 水	医療看護MP説明会
18 金	クラブ総会
22 火	1年生フレッシュマン合宿（～24日）
24 木	2年生遠足 3年生上山研修
25 金	休校日
26 土	PTA常任委員会
5月	
10 土	PTA総会 学級懇談会
16 金	ウエサカ祭
19 月	午前授業
20 火	中間考査（～23日）
30 金	体育大会
31 土	PTA常任委員会 地域懇合同地区委員会
6月	
5 木	芸術鑑賞
11 水	生徒会立会演説会
13 金	創立記念日
15 日	珠算電卓検定
22 日	簿記検定
28 土	地域懇談会
29 日	地域懇談会 ビジネス文書実務検定
30 月	午前授業

マウトハウゼン強制収容所を訪ねて

211 熊澤 佐耶（一宮市立大和中学校出身）

世界史などの授業を利用した事前学習で、強制収容所ではどのようにひどいことをされたのかを学習しました。しかし、いざ本当にマウトハウゼン強制収容所を訪れると、改めて人間の残酷さを思い知らされました。あんなに狭い部屋に何百人も収容され、少ない食事で大変な労働をさせられ、きっと生きている心地がしなかったと思います。もしかすると、「死んだ方が楽になる」と考えた人もいたのではないのでしょうか。

今、平和に暮らしている私たちにできることは、生きていることに感謝し、亡くなった人たちの分まで幸せに生きることではないかと思っています。

ベートーヴェンの「遺書の家」を見学して

211 鈴木 友子（土岐市立肥田中学校出身）

修学旅行最終日。班ごとでの自由行動はとてもハードで疲れましたが、とても充実していました。シェーンブルン宮殿は広く、美しく、夢のような建物でした。そして何よりもベートーヴェンの「遺書の家」に出かけることができたことは、とても嬉しかったです。ベートーヴェンと同じ場所に立っているなんて、嘘みたいにも思えるほど感動しました。そしてピアノが恋しくなりました。早くベートーヴェンの曲を弾きたい!!と思いました。

Austria



先生。そのたびに「大丈夫！大丈夫！」って言ったけれど、本当は焦っていた。先生も「留年するぞ！」って冗談っぽく言いながら、すごく心配していた。自分が「こんなじやダメだ」って、やうと気づいてからは、その気持ちに耐えたいって思うようになった。長い目で見守ってくれてありがとう。

学年が上がり私は主将になった。思い通りにいかなくて、その重荷で潰れそうになった。そんな時、いつもどこかで見守ってくれダメな時はごんごん叱り、道を示してくれた先生。部活動を通して私は大きく成長する事ができた。

何度も通った保健室。体調が悪い時、付き添いで行った時、悩みを相談しに行った時、ちよとしたおしやべりをしに行った時。いつも笑顔で迎えてくれた先生。「ありがとう」だけでは足りないほどお世話になった。

自分が何をしたいかもよくわからず、志望校を決めることができずにいた。そんな私に親身になってずっと相談に乗ってくれた先生。おかげで自分のやりたことを見つけることができた。

学校の中に自習室という勉強できる場を準備し、受験という空気を作ってくれた。下校時間で教室を閉めてもいいのに、私たちのために遅くまで勉強を見てくれた。残りあと少しラストスパークかけてがんばります！

ここまで私を成長させてくれた先生。その背中を見て、私も先生のようにになりたいと思った。私が夢を叶え頑張っている姿を見せることで、恩返しをしたい。

将来の夢・希望

「まわりから好かれ、自他ともに認められるような人になりたい。」私は自分が大嫌いだっ。でも、自分を好きになれない人間は、周りからも好かれなと知ってからは、努力し、私が私を認め、まわりから好かれるような人を目指したい。

「夢は大きく、チャレンジ精神」せつかく大学に通うのだから、トップを目指した。私の夢を実現できる人はごくわずか。厳しい競争になると聞くでも、それに飛び込み、打ち勝つこそ、扉を開くチャンスが与えられる。チャレンジこそが夢への希望。私は卒業式が終わってから大学受験に挑む。勉強を始めるのが遅く、もっと早くから取り組みれば良かったよかったですと後悔している。でも、将来の夢

をかなえる第一歩として、持っている力をつくし、いい結果を掴みたい。

私は自分の将来の夢をかなえるために大学に行きます。それを目指すために努力したい。夢を夢で終わらすのは嫌だから、一度決めたことはやり遂げる。

1年生で初めて見た同朋の卒業式に泣いた。その時は「卒業したくない！」と思ったけれど、気が付けば3年間が過ぎ、もう私たちの卒業式になった。振り返ると私たちの学年は男女分け隔てなく仲が良く、誰にでも輝ける場所があった。それは私たちの真剣な気持ちに応じてくれた先生、私たちが信じて支えてくれた家族。そしてどんな時でもそばにいてくれた仲間のおかげ。

何かを変えたいと思うならまず、自ら進んで行動すること。前に進む勇気が大切なのだ。この同朋高校で学んだ。これから私たちはお世話になった先生方の元を離れ、3年間一緒に過ごしてきた友達とも別れ、それぞれの道を行く。道を歩む途中で、壁にぶつかり、遠回りをしてくじけ、うまくいかないうちもあると思うが、あきらめずに自分を信じて進めば、きつと道を切り開くことができる。と信じている。同朋で過ごした3年間の思い出や学んだことを胸に、私たちは旅立ちます。

卒業生合唱 「旅立ちの日」:

お父さん。お母さん。この18年間、伝えきれないくらい「ありがとう」があります。そしてこれからもよろしくお願ひします。

先生、この3年間、迷惑や世話をかけ、ばかりでした。今日、そんな私たちが卒業を迎えられるのは先生たちのおかげです。今までありがとうござい



◆ 学校長 式辞 ◆

昨日は突如現れた銀世界に驚かされました。まだ2月半ば。雪が舞ってもおかしくありませんが、何とも春の到来の待ち望まれる今日の頃です。目を凝らしてみると、春は確かにもうそこまで来ております。卒業生の残してくれた校内の河津桜もわずかに色づき、開花し始めております。

ただいま、卒業証書を手にした362名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございします。みなさんの門出を心から祝福いたします。

高校の3年間はなにもにも代えがたい、大変貴重な時間でした。喜びも悲しみも、みな、とりどりはあつたけれども、その値打ちに軽重はありません。かけがえのない時間をみなさんとともに過ごしてきたことを、私たちは忘れません。そんな思い出の断片が、次々とよみがえってまいります。

みなさんの生まれ育った時代は、「バブル経済」の崩壊後、「阪神淡路大震災」、「リーマンショック」に続く経済金融危機。そして「東日本大震災」と、苦しいのは尽きませんでした。しかし日本は苦しみの中から這い上がるうと努力し、今、苦難の末に微かな光の差すのを感じ始めております。

光の1つは若者の活躍です。世界の大舞台で活躍するのは、今やみなさんと同じ10代の若者です。今回のリオオリンピックでは、羽生結弦選手が金メダルに輝きました。オリンピックでも、先日のローザンヌ国際バレーンクールでも、若者が夢を持つて、ひたむきに努力する姿に、私たちが大いに励まされる思いがします。



波により甚大な被害があり、多くの方が被災しました。これまでの価値観が変化するほどの衝撃的なできごとでした。そんな悲惨な震災直後の状況で、世界中が感動したのは、被災地が大規模な略奪や無法地帯になることなく、秩序を保ち、冷静に行動する被災地の方々の姿でした。同朋高校のみなさんも他校の高校生たちと、一緒に被災者支援のボランティアや募金活動など、東北の人たちの一日も早い復興を願って活動してきました。被災された方たちを何とか支援したいと思い、行動するみなさんがいます。

人はみな、支えあつて生きています。人を思いやり、感謝する気持ちをこれからも忘れないでください。みなさんは本日同朋高校を卒業します。が、「1つが終わる」ということは「新しいことが始まる」ということです。同朋高校の生活が終わわり、新しい夢に向かってこれから



日は必ず良くなる。そう信じて明日に思いを託する可能性があるはず。

デイズーのアラジンは「アラジン」のもとになった「千夜一夜物語」。別名アラビアンナイトは、妻に裏切られて人間不信に陥り、その復讐として毎日女性を殺してきた王に対し、次々と興味深いお話を語り続けることでその日の生き延びたシエラザードという女性を語り手とする物語でした。有名な「アラジンと魔法のランプ」や「アリババと40人の盗賊」はそのお話の1つです。話が佳境に入った所で「続きはまた明日」とシエラザードは話をやめます。そうすること、で、「明日1日」がまた「もう1日」となり、ついに「千日経つてしまします。そうするうちに、王の心は慰められ、王は心を入れ替える」という物語です。「明日はどうかだろう」「続きはどうなるだろう」「人は期待しながら翌日を迎えよう」とします。シエラザードには続きを語ることが、明日も生きることです。王にとっては続きを聞くことが生きる希望となるわけです。せめて1日先であつても、夢を持ち、希望を持つて「続き」に期待する。そんな毎日が「千夜一夜物語」では「千夜も続いたのです」。

みなさん、周りを見てください。程度こそ違え、みなさんの仲間の中にも、普通ならあきらめて投げ出してしまつてところを、粘り強く続けてきた仲間たちが確かにいました。日々の学習のなかで、時には人間

◆ PTA会長祝辞 ◆

卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございします。また、保護者の皆様、本日無事卒業の日を迎えられましたこと、心よりお祝ひ申し上げます。卒業生のみなさん、3年間の高校生活はいかがでしたか。改めて思い返すと、みなさんそれぞれ3年間の思い出が胸をよぎるのではないのでしょうか。3年前、校の咲く4月に同朋高校に入學した時に、みなさんはどんなことを考えていたのでしょうか。進路について、部活について、新しくできる友達との高校生活についてなど、夢や希望があり、また新しい生活への不安もあったのではないかと思います。同朋高校での高校生活が始まり、いきなりのフレッシュマン合宿で鍛えられたことも思いだすのではないのでしょうか。1年生、2年生、3年生とみなさん学年ごと

にそれぞれの体験があり、思い出があるのではないのでしょうか。体育大会、文化祭、修学旅行など学校行事は楽しかったですか。今あらためて振り返ってみると、3年間の高校生活では楽しい事もあり、辛い事もあったのではないのでしょうか。思いどおりにできなかった事、また思いどおりにできなかった事など、数多くあったでしょうが、それぞれ「つひ」の体験がきつと今のあなた達の力になつてはいます。同朋高校での様々な体験があなたたちを成長させてくれたはず。そして、3年前のあなたが今のあなたを見た「同朋高校の3年間でこんなに成長したんだあ。よく頑張ったなあ」ときつと言うでしょう。みなさん自信を持って、胸を張って同朋高校を卒業してください。

さて、この3年間で私たちにとつて忘れることのできないできごとの「つが、みなさんが入學した平成23年3月11日におきた東日本大震災です。地震と津



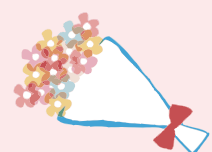
各種表彰受賞者

- 愛知県知事賞
普通科 川上真理奈 森山中学校出身
- 名古屋市長賞
音楽科 橋本 愛理 平田市立平田中学校出身
- 日本私立中学高等学校連合会会長賞
普通科 南谷 明里 稲沢市祖父江中学校出身
- 愛知県私立学校協会会長賞
普通科 鶴岡 亮佑 菊井中学校出身
- 産業教育振興中央会賞
商業科 遠原健太郎 蒲須市立新川中学校出身
- 愛知県産業教育振興会賞
商業科 杉谷 翔吾 長良中学校出身
- 全国商業高等学校協会理事賞
商業科 西口 航平 御田中学校出身
- 愛知県商業教育振興会会長賞
商業科 高津 歩美 北名古屋市中区中学校出身
- 私学協会優良生徒
普通科 森 彩華 知多市立東部中学校出身

GRADUATION DAY



LAST HOME ROOM



卒・業・生・感・想

みんなの想いを構成詩にのせて

卒業生 南谷明里 (福沢市立坂戸中学校出身)

私は合唱構成詩チーフとして卒業式に関わりました。チーフという大役に不安はありましたが、今まで私が学んできたことを、この合唱構成詩に込めることができたいと思います。合唱構成詩に取り組むことは初めてでしたので、これからどう進めていくのがいいのかわかりませんでした。どうやって構成詩を作るのか、最初から最後まで実行委員のみんなと手探りの話し合いの連続でした。

構成詩を作るために、卒業生から思い出作文を募り、それを参考にして文章を作り、推敲し、足りない部分を再び募りという作業を何度も繰り返しました。直接的な言い回しを省き、いかに3年生全員が共感し、感動できる言葉を作ることは、とても難しく大変な作業でした。

冬休み明けには合唱構成詩朗読者を募集しました。募集の条件として、実行委員でどんな生徒に参加してほしいのか、など細かく真剣に話し合いました。「すべての練習会に出席できる生徒」という条件で何人の朗読者が集まるか不安でしたが、普通科商業科音楽科とすべての科から25人の希望者が集まりました。このメンバーで一緒に構成詩を作っていく、とても嬉しかったです。

迎えた練習会は、無断欠席や遅刻があり、このまま卒業式は成功できるのかと悩むこともありましたが、でも、そのたびに実行委員のみんなが相談に乗ってくれ、真剣に練習している朗読者の姿に励まされました。初めは不安しかなかったのがみんなのためにできることを精一杯したいと思うようになりました。

卒業式を終えて何より嬉しかったのは、母が泣きながら「よかった」と言ってくれたことです。その時頑張ってきた心の底から思いました。すばらしい卒業式だったのはみんなのおかげです。私を合唱構成詩に誘ってくれた先生、チーフを任してくれたみんなそして私を3年生のために力を貸してくれたすべての人たちに感謝いたします。



在・校・生・感・想

在校生企画で、みんなの想いが1つになった！

206 二村優伽 (柳中学校出身)

「今年の卒業式での在校生企画は、全校生徒参加にこだわりたい！」私は、在校生側の卒業式実行委員長としていろいろと考えました。在校生から卒業生に対して行う企画を、一部の実行委員の生徒だけで行うのでは意味がありません。少しでも全校生徒が関われる企画を作ることができないかと、在校生企画のメンバーと何度も話し合いました。

会議では、いくつかそれなりの案は出ましたが、なかなか企画としてまとめることができませんでした。「どうすればうまく進むのだろうか」と悩んだこともあり、担当の先生と意見が衝突したこともありましたが、しかし、悩んでも答えは出ません。みんなの距離感を縮め、活発な意見を出し合うために、小さなことで声をかけ、依頼をしたらと繰り返すうちに、体育大会で3年生と一緒に取り組んだ群団を活かした企画がまとまりました。

企画はまとまりましたが、私にはまだ悩みがありました。それは、全校生徒が企画に協力し、参加してくれるのだろうかということでした。今回の在校生企画は、すべての在校生の協力が必要です。不安はありましたが、「やる」と決めた以上、最後までやり遂げるために、在校生を集めた体育館で私の想いを伝えました。

卒業式当日、卒業生のみなさんによる合唱構成詩が終わり、いよいよ在校生企画です。十分な練習はできませんでしたが、会場が体となった企画が成功しました。この成果に、悔いはありません。

昨年引き続き在校生企画に関わって、企画から最後までやり遂げる大変さを改めて実感しました。今までの経験からも大変さは分かっているつもりでしたが、今回の企画はそれ以上に悩み、考えました。在校生企画の成功は、在校生のみなさんが協力してくれたおかげです。ありがとうございました。



在校生朗読者として臨んだ卒業式

101 村井渚 (前津中学校出身)

「同朋の卒業式はすごい！」と、入学してすぐと先生から言われた言葉。正直「卒業式なんだろう？」という思いと「卒業式だから！」という期待が混ざっていました。だけど、同朋の卒業式は私の期待を裏切りませんでした。

2012年度に卒業した先輩から、その時のDVDを借りて、初めて同朋の卒業式を画面から見ました。知っている先輩なんてほとんどいないのに、大号泣した合唱構成詩。私が3年生になったら、必ず朗読者になって、私が感動した時のように誰かを感動させたいと思いました。

今年の卒業式は、実際に自分の目で見ることができ、思った以上に幸せに思っていました。先生から「在校生として朗読者をやってみないか？」と頼まれました。こんなに幸せなことはありません。だけど、練習してみるくらいじゃありません。自分には向いていないと思いました。前日のリハーサルでもうまくできなかったのですが、目の前で卒業生が本気で練習する姿を見て、「ラストだよ！」と陣を組む姿を見て、卒業生が何カ月もかけて作り上げた構成詩を、自分が壊してはいけないと思ひました。朗読は苦手なので、せめて台本を見ることがなく、涙を堪えて、笑顔で読むことを心がけました。

そして、遂に迎えた卒業式当日。私は泣きながら朗読してしまいましたが、台本を見ることがなく朗読しました。自分の出番を終え、安心感から舞台裏でたくさん泣きました。中学生のころから大好きだった先輩、部活動でお世話になった先輩、大人づく見えた先輩は、私の憧れです。そんな先輩が卒業してしまうのは本当に淋しいのですが、在校生を代表して卒業生に気持ちを伝えることができました。

先生、私を朗読者に選んでくれてありがとうございました。先輩、今まで本当にありがとうございました。



合格体験記

先日卒業した先輩から、
在校生のみなさんに
進路に対するメッセージを
寄せていただきました。

滋賀大学 経済学部 合格

商業科 **安藤 琢郎**
(長良中学校出身)

私が受験した滋賀大学は、小論文と面接の試験がありましたので、とくに小論文対策を一生懸命取り組みました。今思えば、もっと早くから取り組みが良かったと後悔していますが、合格することができたのは担任の先生と一緒に取り組むことができたからだと思います。先生は毎日遅くまで丁寧に指導してくださいました。それに応えようと、私も睡眠時間を削るほど小論文を書き続けました。

小論文対策を始めたころは、先生に添削していただくという点ばかりでした。次第に小論文が嫌いにもなりました。しかし、毎日大変な思いをして小論文を書いていると、だんだん上手に書けるようになりました。受験校を中心とした過去の出題問題に何度も取り組み、受験直前には自信がついていました。もちろん面接対策も取り組み、自分をそのまま出すことができるように心がけました。

私はこの勉強方法で国立大学に合格するこ

では高い点数を取ることができました。僕は公募制推薦で合格したのですが、入試の点数に評定平均値が影響するので、1・2年生である程度評定を取得することは、合格するための大きな要因であったと思います。

3年からは学校の自習室で、夜の8時まで参考書や問題集に取り組みました。僕は塾には通わなかったのですが、自習室のような勉強に集中できる環境が整った場所があつてとても助かりました。また、自習室には自分と同じように受験のために一生懸命になつて頑張っている同志がいました。彼らとコミュニケーションをとることで、勉強に対するモチベーションが上がり、やる気も出ました。彼らのような存在がなければ、僕は途中であきらめていたかもしれません。

また、先生や家族のサポートがあつて合格だとも感じました。先生は忙しい中、僕たちのために補習を開いてくれ、分からない問題の質問に答えてくれ、面接の練習もしてくれ、個人的な受験相談などと協力していただきました。母は僕のために家で勉強できる環境を整えてくれ、いつも食事などで僕のことを応援してくれました。

受験を通していろいろな人が自分を支えてくれていることを改めて実感しました。このような人たちに感謝をし、これから先、多くの人から信頼を得られるような人間へと成長したいです。

とができました。私が国立大学に合格するのは無理だと諦めかけたこともありましたが、後輩のみなさんには努力をすれば合格できるというのを伝えたいです。

静岡大学 人文社会学部 経済学科 合格

商業科 **杉谷 翔吾**
(長良中学校出身)

私は3年生の8月から小論文の勉強を始めました。担任の先生に国立大学を薦められたとき、私は国立大学に合格する自信がなかった。で私立大学のために勉強をしていました。しかし、小論文の勉強をするにつれ、国立大学に合格したいという気持ちが変わりました。

夏休みが終わると、授業後に学校に残り、4時から夜の8時まで本格的に小論文の勉強に取り組みました。商業科からは3人が国立大学合格を目指しました。なかなか小論文が書けず、手ずかることもありませんでしたが、毎日勉強をしていくにつれて少しずつ書けるようになりました。書けるようにはなりませんが、担任の先生からは「文と文のつながりが分かりづらい」と指摘があり、私たち3人は「完璧」と先生から言っていただけのような小論文を書きたいと思うようになりました。

以前、担任の先生から「合格するためには死ぬ気で努力しろ」と言われたので、学校で勉強して家に帰つても、ひたすら小論文の勉強をしました。休日も友達と遊びたい気持ちを我慢しました。

小論文を書くときは、まず簡単なメモを書

き、次に文と文がつながっているか、分かりやすい文章であるか気を付けました。これから小論文の勉強をする人に、毎日新聞を読むと小論文のネタになり、よりよい小論文を書けるようになるということを伝えたいです。

添削指導していただいた担任の先生や面接指導をしていただいた先生、応援してくれた方々に感謝し、高校を卒業してからもこの感謝の気持ちを忘れず、大学生生活を送りたいと思います。

藤田保健衛生大学 看護学部 合格

普通科 **花木 志帆**
(御幸山中学校出身)

「将来は人の役に立つ職業に就きたい」という強い思いが私にはありました。いろいろな進路を考えているうちに辛い思いをしている患者さんを、番近くで支えている看護師に惹かれ、「看護師になりたい」と思いました。夏休みを利用して、さまざまな学校のオープンキャンパスに出かけました。藤田保健衛生大学のオープンキャンパスに行つた際、大学病院であることや、設備が十分に整っている大学であることに魅力を感じ、「この大学で学びたい」と強く思いました。

2年生の2者面談で、志望校を担任の先生に伝えると「なかなか合格は難しい」と厳しい言葉を受けた。とても悔しかった。それから私は担任の先生を見返そうと、必死に勉強をしました。塾へも通い、過去問を何回も

商業科

部活動と両立して取得した 四種の1級合格証書

私は、高校3年間で四種類の検定試験の1級に合格することができました。一生懸命に取り組み、多くの資格を取得できてうれいです。

高校に入学したばかりの私は、こんなにも多くの資格を取得しようとは思っていませんでした。私は、ラグビー部での充実した練習に取り組むために、自宅からも通いやすい同朋高校を選びました。

そんな私の意識が変わつたのは、1年生の簿記の授業です。担当の先生から分かりやすく簿記を教えていただきました。それから、簿記の授業を楽しく受講することができました。楽しく授業が受講できると、勉強が楽しくなり、検定試験でさえも楽しく思えるようになりました。簿記に限らず、その他の検定試験も一生懸命取り組みましたが、簿記検定1級会計部門だけは辛い勉強でした。今までの検定試験は、1年間学んだ内容が出題されていましたが、この検定のための勉強は、1年分の勉強内容を4月から6月までの3か月に圧縮して取り組まなければ受験できません。授業のスピードも、今までの2・3倍のような速さで進みました。そんな厳しい状況でしたが、担当の先生が対策プリントを作ってくださり、友達同士で疑問点を教え合い、仲間と一緒に頑張って大きな目標を目指すことができ、合格につながりました。

全国商業高等学校協会主催 検定試験

四種目1級合格者
平野 隼大 (はとり中学校出身)
辻本 有沙 (藍江町立藍江北中学校出身)

三種目1級合格者
大飼 美優 (助光中学校出身)
松浦 有里 (大治町立大治中学校出身)
安井はるか (瑞穂ヶ丘中学校出身)

解きました。最初はまったく解けず、悔しい思いもしましたが、問題数をこなすことにより、徐々に実力がついていくのが分かり嬉しかったです。

しかし、いつも前向きでいられた訳ではありませんでした。今まで一緒に勉強していた友達や、指定校推薦で大学に行くことを決め、勉強をやめたときはとても辛かったです。1人だけ取り残されたような気になりました。私も大学のレベルを下げて指定校推薦で進学しようかなと考えたこともありましたが、私の藤田保健衛生大学で学びたいという強い思いは消えませんでした。夏休みも進学補習で学校へ行くことが以外は外出しませんでした。みんなが楽しそうに遊んでいる姿を見ているのは辛かったです。受験の前日には不安で押しつぶされそうになりましたが、私が頑張ることができたのは高い目標があったからだと思います。逃げ出したくなつた時もあつたけれど、目標があったことが強みだと思っています。やる前からあきらめずに挑戦することの大切さを学びました。

名城大学 理工学部 合格

普通科 **大竹 翔丸**
(高杉中学校出身)

僕は1・2年生の時にAP(アドバンスプログラム)で英語と数学を受講しました。英語は主に文法と単語を勉強し、数学は基本問題だけではなく、応用問題やセンターの過去問題など挑戦することがありました。そのおかげで英語と数学の基礎的な知識が身につき、定期テスト

平野 隼大 (はとり中学校出身)

このころ、私はラグビー部のキャプテンとしてチームをまとめる立場にいました。チームにとっても大会のための練習が大切な時期に、検定試験対策の補習があります。どちらを優先すべきか迷いましたが、副キャプテンやリーダーから「チームはまとめるから、勉強してこい」と背中を押してもらいました。私が検定試験に専念できたのは、チームのおかげです。だから、練習ができる時には率先して取り組み、チームとしてもよい結果を残すことができました。

私の高校生活が充実できたのは、一緒にラグビーボールを追つた仲間、勉強を教え合つた友達、熱心な指導をしてくださった先生方のおかげです。だからこそ、1人ではたどり着けないゴールに至つたのだと思います。これは、社会に出てからも活かせることだと思います。在校生のみなさんにも、部活動だけでなく検定試験など勉強にも積極的に取り組んでほしいです。



▲2011年度卒業生
鎌田かおりさん(四日市市立西陵中学校出身)

商業科

「税」を学ぶ



技術をしっかり身に付けてほしいとお話いただきました。
「国民の義務」のつてもある納税に対し、正しい知識・考え方を持つ貴重な機会となりました。
(商業科主任 平野 裕騎)

年末に3年生を対象に実施した「ライブラン学習会」に引き続き、2年生を対象に名古屋税理士会の協力のもと「租税教室」を行いました。
講師をお願いした目置実税理士からは、「なぜ税金が存在するのか」「どうして4月から消費税を引き上げなければならないのか」「税理士とはどのような仕事なのか」などといった生徒の素朴な疑問に答える形で丁寧にお話しいただきました。また、簿記の授業で扱う「法人税」を算出するために簿記の正確な知識が必要ことや、これから先の社会を生き抜くために、簿記の知識・

◀稲葉 康将さん
(一色中学校出身)

Cipping Reports

2年生

卒業生から刺激を
『卒業生を囲む集い』

203 貫代 美幸 (日比野中学校出身)



卒業生のみなさんからそれぞれの進路についてのお話を伺う『卒業生を囲む集い』を行い、私は全体会の司会をさせていただきました。
全体会では3人の卒業生の方にお話をいただきました。3人の先輩方のお話を聴き、共通して印象に残ったことが3つあります。それは、①高校時代に目標をしっかり見定めていること。②そのためのやるべきことを理解し、自分に厳し

く向き合い勉強をやりきったこと。③何よりも周囲の人たちへの感謝の気持ちを持ち続けていたことでした。
私自身はまだ明確な進路の目標がなく、正直焦りを感じています。しかし、逆に言えばその「焦り」はこれらの自分自身の進路を考える上にとってプラスにもなるのではないかと考えています。今回の全体会や分科会で先輩方からの話から受けた刺激をプラスに変えてこれからの受験勉強をしっかりとしていきたいと思っています。
また、今回の会では卒業してから見た同朋の良いところ悪いところについてもお話いただきました。どの先輩方も他の高校にはない、同朋の友人や先生方の「人の温かさ」について語っていましたが、その一方で、環境に甘えることなく規律を守ることの大切さについても強調されました。私も残された年間の高校生活の中で、たくさん同朋高校の良いところを見つけ、卒業してもこの学校でよかったなと思えるよう過ごしていきたいと思います。

みんなの力で作ったスポーツ大会

1年生



105 上野 宗政 (笹島中学校出身)

今回の学年行事は、グラウンド・体育館との同時進行で開催しました。とても大きな企画をするにあたって、先生方から「無理じゃないか」「不安だ」などの声が挙がりましたが、そんな状況でもめげずに準備を進めてくれた「チーム学年行事」のみんなに感謝いたします。
スポーツ大会を実施するまでには、いろいろと準備しました。まずは、1年生のみんなにアンケートを取り、競技種目を決めました。このあとのルール決めが大変でした。それぞれのクラスの人数が違い、男女の比率も違い、部活などでその種目の経験がある人や経験がない人の差、男女混合で行うことなどさまざまな問題がありました。問題を見つけたら、みんなと話し合ってルールを作りました。
また、全員参加の競技が提案され

たので、大縄跳びを計画しました。この実現のために、大縄跳びの縄は、演劇部から道具を借りて自分たちで作りました。男子サッカー部や女子蹴球部、テニス部の人たちに協力してもらい、リハーサルを行いました。このように多くの人たちに協力してもらい大縄跳びが実現したのです。
こうした経験から、僕は大きな力を成し遂げるには、数多くの人の協力が必要で、これがないと良いものができ上がらないということを実感しました。今回は、「チーム学年行事」のみんなと、各部活動の人たち協力してくださった先生方、そして時間とルールを守り守って参加してくれた1年生のみんなのおかげで成功しました。このように一緒に協力し、力を貸してくれる人たちがいなければ素晴らしい学年行事にならなかったと思います。